

## 指定管理者評価シート

### 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市男女共同参画推進センター エル・ソーラ仙台
2 指定管理者	公益財団法人せんだい男女共同参画財団
3 指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
4 施設の利用状況	<p>《利用者数》 令和2年度 30,616人 ※ (前年度比 -76.57%)                  令和元年度 130,686人 ※                  平成30年度 146,981人</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための措置については下記①～⑥参照。                  ①令和2年2月20日以降の予約について、感染拡大防止を理由に利用を取りやめた場合は施設使用料を全額返金。                  ②令和2年3月5日から5月31日までの利用にかかる新規申込受付を停止。                  ③令和2年4月10日から5月31日までの利用自粛を要請。                  ④令和3年3月27日から5月11日までの利用にかかる新規申込受付を停止。                  ⑤令和3年3月27日から5月11日までの利用自粛を要請。                  ⑥令和2年3月5日から令和3年5月31日まで予約なしで利用できるスペースを利用休止。</p> <p>《事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の管理運営</li> <li>・男女共同参画関連情報の収集提供、各種相談の実施、市民活動の支援及び交流の促進</li> </ul>
5 収支の状況	<p>《費用》 ( )は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者に支払った費用 208,340千円 (203,384千円)</li> <li>・その他市が負担した費用 101,864千円 (145,158千円)</li> </ul> <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用料収入 4,734千円 (6,901千円)</li> <li>・その他収入 19千円 (123千円)</li> </ul>
6 利用者の声	<p>《実施状況》</p> <p>①利用者アンケートの実施                  令和2年11月12日から12月11日まで施設利用者に対してアンケート調査を実施し、アンケート結果及びサービス改善に対する提案・意見への回答を施設内に掲示した。</p> <p>②センター利用団体交流会の実施                  「男女共同参画推進せんだいフォーラム2020」最終日に、センター利用団体同士の情報交換を促す交流会を実施し、利用者の意見を職員が聴き取った。</p> <p>③窓口や電話での利用者の声の聴取                  随時窓口で、センターへの意見や感想を聞いている。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う施設の一部利用休止により来館が減った令和2年度は、ロッカー・ワークステーション登録団体の声を拾うため電話によるヒアリングも行った。</p>

### 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的や施設運営上の基本方針に基づき、適切に管理運営されており、設置目的の達成に向けて、職員一人ひとりが事業企画や施設管理に反映できるよう、会議や研修の機会を通じて意識を共有している。また、利用者が公平・公正に施設を利用できるよう情報提供や受付を行うとともに、市民交流・図書資料スペースの運営や財団の市民活動サポート事業などを通して市民が自主的な活動を行うための支援や交流の場を提供している。	21/21
II 施設の運営管理体制	職員の勤務状況、配置状況、施設の開館、指定管理料について適切に管理されているほか、イベント開催時や繁忙期も、施設運営や市民サービスに支障を来さないよう、柔軟な職員配置を行っている。情報セキュリティ対策では、記録媒体やデータの保管・管理を適切に行っているほか、内部研修によりすべての職員が個人情報保護について高い意識を持つよう努めている。また、事故発生時や非常時の体制も整備し、随時見直しを行っているほか、男女共同参画に係る施設の全国組織で運用する相互支援システムを活用し、災害時には全国の加入施設と連携、支援を行う体制を整えている。	31/30
III 施設・設備の維持管理	建物・設備・備品の適切な維持管理を行うとともに、清掃・警備等の委託業務についても、随時情報を共有しながら適切な管理を行っている。また、環境への配慮については、ブラインドの使用による冷暖房の効率化や窓際の消灯による節電を実施するとともに、利用者にはゴミの持ち帰りを呼びかけるなど積極的な対応を行っている。	20/20

IV サービスの質の向上	<p>服装や身だしなみ、電話窓口対応など普段から適切な対応に努め、また、利用者のニーズを汲み取る力を培うための内部研修を実施するなど更なる窓口サービスの質の向上を図った。このほか、利用者アンケートや懇談会などを通じて積極的に利用者の意見を把握し、利用者が随時施設に提案や意見を寄せられるよう、問合せ先をわかりやすく掲示するなど、適切な対応を行っている。</p>	28/28
V 施設固有の基準	<p>施設の使用許可、使用料徴収や収納、還付事務等については規程類に従って適切に行われているほか、図書資料の収集・提供・市民活動への支援及び交流の促進について積極的に取り組んでいる。相談事業については、関係機関と連携しながらニーズを把握し、事業化するなど十分な相談実績をあげているほか、地域の支援団体との関係作りにも取り組んでいる。</p> <p>このほか、フリースペースにおいてコロナが女性に及ぼす影響をテーマにした展示など、男女共同参画に関する社会課題への理解と関心を高める取り組みを実施した。</p>	30/29

### 三 評価総括

《指定管理者（（公財）せんだい男女共同参画財団）による自己評価》
<p>仙台市の男女共同参画推進の拠点施設として、エル・パーク仙台とともに2館で機能を分担し、センターの設置目的に則った管理運営を行っている。施設管理、市民交流・図書資料スペース運営、相談業務を協定書・仕様書に沿って円滑に実施するとともに、指定管理事業と財団自主事業等を連携させながら効果的に施設運営を行っている。</p> <p>(1) 施設管理及び市民交流・図書資料スペースの運営</p> <p>申請書類の書式や備品等説明資料を随時更新し、利用者の使い勝手を意識した施設運営を行った。また、毎月、保守点検日に課内会議やエル・パーク仙台受付担当職員とのミーティングを行い、サービス向上のための情報共有を図っている。利用者が安心して施設を利用できるよう新型コロナウイルス感染症対策を適切に講じるとともに、施設使用料の還付について個別連絡や案内配布のうえ説明し、手続きの円滑化につなげた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う施設の利用休止期間中も、SNS等を活用してセンターからの情報発信を行い図書等利用の促進を図ったほか、来館者が男女共同参画の視点に触れられる企画展示を実施した。また、施設の利用休止期間中も、センター登録団体の活動を支援するため、打合せスペースやワークステーションを事前予約制で提供した。</p> <p>(2) 男女共同参画推進に関する相談事業</p> <p>・新型コロナウイルス感染拡大の影響からDVの相談が増加したが、コロナ禍で困難な状況にある女性に対し支援情報の提供や特別定額給付金受給に係る証明書発行等を適切に行い、自立に向けた支援を行うことができたと考える。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>エル・ソーラ仙台の管理運営にあたり、利用者の意見や要望を取り入れつつ、男女共同参画推進センターとしての市民活動支援、男女共同参画の推進に資する積極的な施設運営を行っている。また、図書資料等収集・情報提供事業については、主催事業や相談事業等と関連したテーマでの図書のピックアップや、工夫を凝らした館内展示の充実に継続的に取り組んでいるほか、日々変わる社会情勢の変化に対応するためSNSでの情報発信も強化している。</p> <p>相談事業については、DVなど女性への暴力被害者への安全確保にも配慮した相談対応や自助グループ支援を継続して取り組んだ。また、関係機関と連携し、対象者の現状からニーズを把握し、就業自立相談や自立を目指す女性向けのキャリア支援事業につなげるなど、困難な状況にある女性の自立支援の充実に努めている。</p> <p>指定管理者として、関係する条例等の内容に基づき適切に施設の管理運営を行うだけでなく、日頃から地域の女性や団体、企業等とのネットワークを広げ、多様な主体と連携することで発信力を高めるなど、男女共同参画推進センターとしての役割を十分に果たしており、非常に優れた運営管理を行っていると評価できる。</p>	S

### 四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：市民局協働まちづくり推進部男女共同参画課